

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	1690
課題名	指のボーエン病におけるヒトパピローマウイルス感染について免疫組織化学的、ポリメラーゼ連鎖反応法を用いた研究
研究期間	西暦 2014年 1月 8日 ～ 2018年 1月 9日
利用する情報、検体	■診療情報（詳細：外来カルテ、入院カルテ） ■手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： 皮膚） <input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> その他（ ）
	※以下の期間に収集した情報、検体が対象となります 西暦 1998年 1月 1日 ～ 2013年 1月 31日
研究の意義、目的	ボーエン病は比較的高齢者に多くみられるもっとも一般的な皮膚悪性腫瘍の1つです。ヒトパピローマウイルスとボーエン病に関する報告は以前からみられ、特に手指、外陰部のボーエン病において、ヒトパピローマウイルス16型などの悪性型ヒトパピローマウイルスが検出されることが報告されてきました。当科で経験した手指および爪甲に生じたボーエン病においてヒトパピローマウイルス感染の有無について調べ、腫瘍の発生や悪性化との関連を検討することにしました。今回手指・爪甲に生じたボーエン病について、ヒトパピローマウイルス感染の有無を調べ悪性化との関係を明らかにしようと思います。
研究の方法	患者さんの検査および手術で採取した皮膚病変を用いて特殊染色やポリメラーゼ連鎖反応法を用いてヒトパピローマウイルスの感染の有無について検討します。
その他	
個人情報について	利用する情報、検体からは、お名前や住所など、個人が特定できる情報は削除して取り扱いますので、個人情報が外部に漏えいすることはありません。研究成果発表（学会発表、学術論文への投稿）の際にも、個人が特定できる情報は利用しません。
問い合わせ等の窓口	所属：旭川医科大学 皮膚科学講座 氏名：菅野恭子 電話番号：0166-68-2523